



# 長岡京市スポーツ推進計画 (中間改定)



令和2年3月  
長岡京市



# 長岡京市スポーツ推進計画（中間改定）

## 第1章 計画の中間改定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

---

1. 計画の中間改定の目的及び背景・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
  - (1) 長岡京市のスポーツ推進計画
  - (2) 国・府のスポーツ推進に係る動向
  - (3) 計画改定の意義
2. 計画の推進期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
4. 計画における「スポーツ」の定義と目標・・・・・・・・・・・・ 5

## 第2章 長岡京市におけるスポーツの現状と課題・・・・・・・・・・ 6

---

1. スポーツに関する市民意識調査結果・・・・・・・・・・・・ 6
  - (1) するスポーツ
  - (2) ふれるスポーツ
  - (3) 支えるスポーツ
  - (4) つなげるスポーツ
2. 新体力テスト結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
  - (1) 調査の概要
  - (2) 調査結果について
3. 現行計画の数値目標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
4. 長岡京市のスポーツ推進の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
  - (1) するスポーツの課題
  - (2) ふれるスポーツの課題
  - (3) 支えるスポーツの課題
  - (4) つなげるスポーツの課題

## 第3章 今後5年間に取り組む施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

---

1. 数値目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
2. 実施施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

## 参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

---

- ・過去5年の事業実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- ・スポーツに関する市民意識調査報告書（ダイジェスト版）・・・・ 27

# 第1章 計画の中間改定にあたって

## 1. 計画の中間改定の目的及び背景

### (1)長岡京市スポーツ推進計画

平成23（2011）年に制定されたスポーツ基本法は、スポーツは世界共通の人類の文化であり、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであるとしています。さらに、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利であるとし、スポーツの価値や意義、スポーツの果たす役割の重要性が示されています。

運動・スポーツは、体を動かすという人間の欲求に応え、爽快感・達成感が得られるだけでなく、健康や体力の保持増進、生活習慣病の予防など人々が生涯にわたって健康的に生活を送る上で極めて大きな意義を持っているものと考えられます。

本市において、スポーツ施策を効果的に推進していくことを目的に、平成27年に「長岡京市スポーツ推進計画」を策定し、基本理念を『あんたもスポーツ心を！』として、市民の誰もが「スポーツ心」を持って、幸福で豊かな生活を営むことができる生涯スポーツ社会を目指し、地域スポーツの推進に取り組んできました。

今回、より一層の地域スポーツの推進を目指すため、令和2（2020）年度に中間改定版を策定しました。

### 基本理念

『あんたもスポーツ心を！』…………… いちしんいち 一市民一スポーツを目指して

元気な“からだ”を持とう。

元気な“こころ”を持とう。

ふれあう“なかま”を持とう。



## (2)国・府のスポーツ推進に係る動向

国では、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことができるスポーツ立国の実現を目指すため、平成29（2017）年3月「第2期スポーツ基本計画」が策定され4つの指針を定め、スポーツ参加人口の拡大を目指しています。

### 【第2期スポーツ基本計画】



「人生」が変わる：スポーツで人生を健康で生き生きとしたものにできる。

「社会」を変える：共生社会、健康長寿社会の実現、経済、地域の活性化に貢献できる。

「世界」とつながる：多様性を尊重する世界、持続可能で逆境に強い世界、クリーンでフェアな世界に貢献できる。

「未来」を創る：2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を好機としてスポーツで人々が繋がる国民運動を展開し、レガシーとして「一億総スポーツ社会」を実現する。

京都府でも、これまでの計画の成果や課題を明らかにした上で、2019（平成31）年3月に「京都府スポーツ推進計画（中間年改定）」を策定し、今後5年間で推進する必要な施策について基本的な方向性を示し、総合的かつ計画的なスポーツの推進を目指しています。



### (3)計画改定の意義

国の「スポーツ基本計画」、京都府の「スポーツ推進計画」を受け、スポーツ基本法第10条の規定にもとづく地方の実情に即した地方のスポーツ推進計画として、平成27年から10年間の計画となる「長岡京市スポーツ推進計画」を策定しました。

運動・スポーツは、生涯にわたる心身の健康維持や増進に繋がるだけでなく、人々との交流や地域間の交流を促進し、地域の一体感や活力を生み出します。そして、地域社会の再生に寄与するなど、様々な課題を抱える現状において、大きな役割を果たすことが期待されています。

また、令和2（2020）年に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに、市民のスポーツに対する興味・関心は今後ますます高まっていくと考えられます。

このような状況を踏まえ、策定から5年が経過したことにあたり、これまでの施策検証や関係する他の計画との整合性、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえて本計画の示す基本的な理念や目標を継承しながら、今後5年間で必要な施策についても新たに計画に盛り込み、計画の一層の充実を図ることとしました。

## 2. 計画の推進期間

平成27（2015）年度から令和6（2024）年度までの10年間

※中間改定令和2（2020）年度から令和6（2024）年度

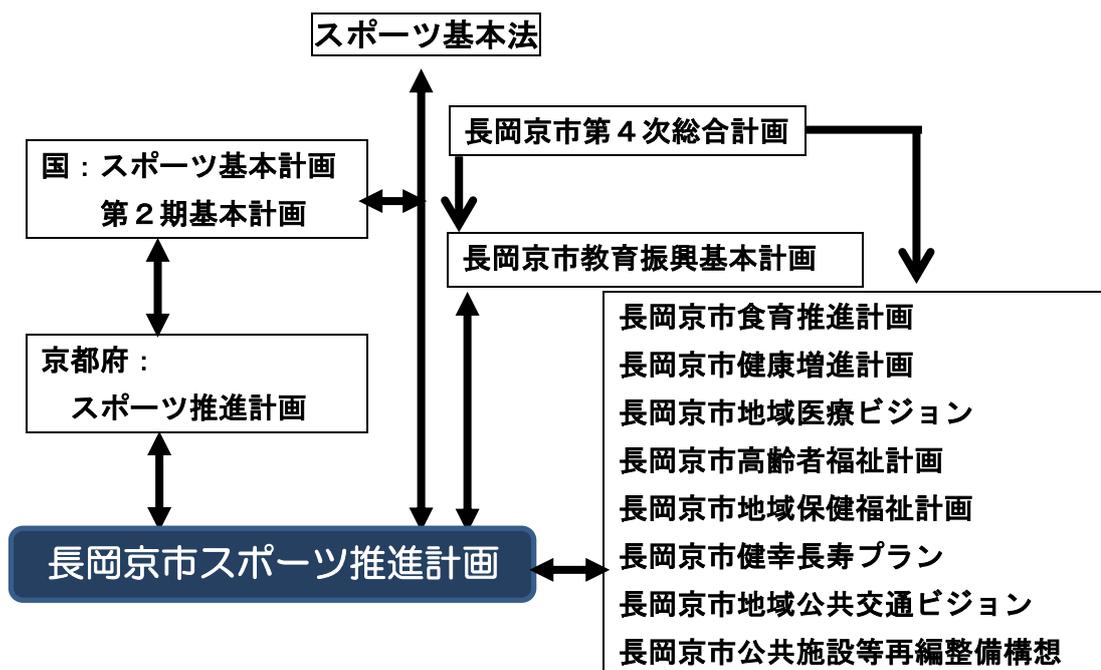
### 国・府の計画との関連

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
国	スポーツ基本計画（H24年度～概ね10年） H29年度：第2期基本計画											
京都府	京都府スポーツ推進計画（H26年度～R5年度） R1年度：中間改定											
長岡京市	長岡京市スポーツ推進計画（H27年度～R6年度） R2年度：中間改定											
市第4次 総合計画	長岡京市第4次総合計画第1期基本計画（H28年度～R2年度） 第2期基本計画（R3年度～R7年度）											

### 3. 計画の位置づけ

本計画は、国のスポーツ基本法に基づいた地方スポーツ推進計画や京都府のスポーツ推進計画を踏まえ、本市におけるスポーツ振興の理念を守りつつ今後のスポーツ振興の方向性を明らかにした指針となるよう定めるものです。

また、長岡京市第4次総合計画ならびに、その他の関連計画と連携し、体系的にスポーツの推進を図ります。



### 4. 計画における「スポーツ」の定義と目標

近年、スポーツの概念が幅広く捉えられるようになってきました。本計画においても、競技種目や活動のレベルにかかわらず、市民が楽しみのために、あるいは、健康づくりのために行うウォーキングや体操、自然と親しむためのハイキングやキャンプなどの野外活動といったレクリエーション活動を含め、スポーツをより身近なものにするために、個人が主体的に目的を持った身体活動をスポーツと幅広く定義します。

そこでスポーツ活動を、自らスポーツ活動を行う「するスポーツ」だけでなく、競技を観戦したり、より多くの市民が運動・スポーツにふれる機会をつくる「ふれるスポーツ」、ボランティアとして大会運営にかかわる「支えるスポーツ」、そして、国際交流として海外と運動スポーツの交流を通して世界とつながる機会とする「つなげるスポーツ」といった側面で捉えます。

スポーツを「する」「ふれる」「支える」「つなげる」ことで、全市民がスポーツに関わることを最終目標として「一市民一スポーツ」を目指していきます。

## 第2章 長岡京市におけるスポーツの現状と課題

### 1. スポーツに関する市民意識調査結果

平成30年9月から10月にかけて、市民を対象として市民意識調査を実施し、スポーツに関する質問を行いました。その結果の概要は次のとおりです。

調査対象	長岡京市在住の20歳以上の方
サンプル数	2,100人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収による調査
調査期間	平成30年9月21日から平成30年10月22日
回収数(率)	1,072人(51.0%)

#### (1)するスポーツ

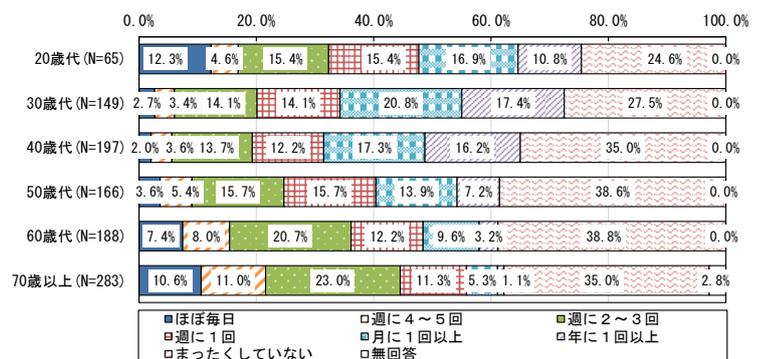
##### ◆市民の運動・スポーツの実施率

- ▶「週1回以上運動・スポーツをする人」の割合は、43.9%（H25：42.9%）、週3回以上では、30.9%（H25：29.8%）でした。一方、運動やスポーツをしなかった人の割合は34.7%（H25：32.4%）でした。
- ▶年齢別では、週に1回以上運動・スポーツする人の割合は、40代が31.5%と最も低く、30代も34.3%と2番目に低い結果となりました。
- ▶性別では、スポーツを「全くしていない」人の割合は、男性29.2%に対し女性38.7%で、9.5%高く、女性の方が運動・スポーツする人の割合は低くなっています。

図表：運動やスポーツを行う頻度  
(前回調査との比較)

	(前回)	(今回)
ほぼ毎日	7.0%	6.3%
週に4～5回	7.7%	6.6%
週に2～3回	15.1%	18.0%
週に1回	13.1%	13.0%
月に1回以上	13.6%	12.4%
年に1回以上	8.2%	8.0%
まったくしていない	32.4%	34.7%
無回答	2.9%	0.9%
調査数	977	1,070

図表：年齢別 運動やスポーツを行う頻度

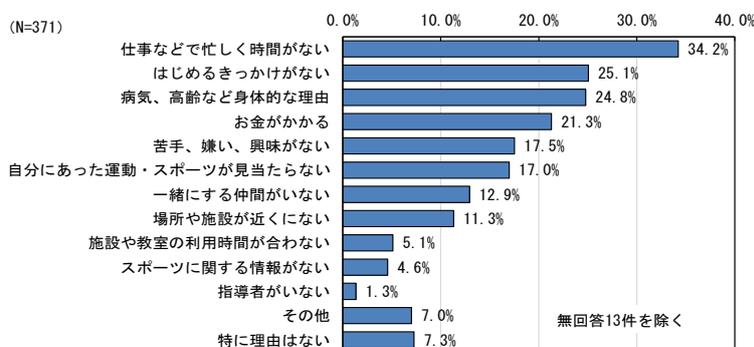


◆運動・スポーツをしなかった理由

▶運動やスポーツをしなかった理由としては、30代から50代は、「仕事など忙しく時間がないから」(34.2%)が最も多く、20代では「はじめるきっかけがない

(62.5%)、「苦手、嫌い、興味がない」(50%)、60代では、「病気・高齢など身体的な理由」(24.8%)という結果となりました。

図表：運動やスポーツを行わない理由



図表：年齢別 運動やスポーツを行わない理由

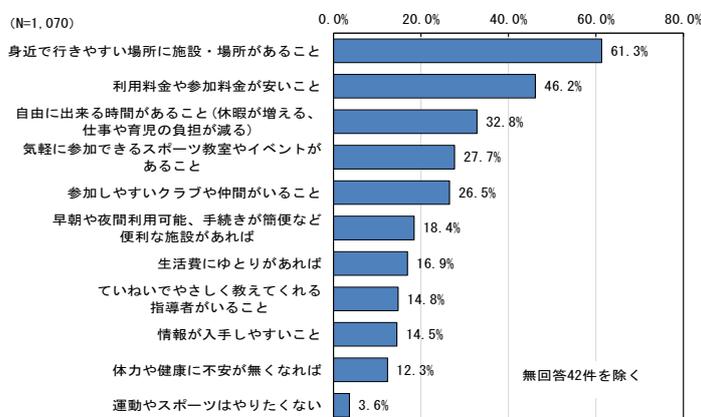
	仕事などで忙しく時間がない	はじめるきっかけがない	病気、高齢など身体的な理由	お金がかかる	苦手、嫌い、興味がない	自分にあった運動・スポーツが見当たらない	一緒にする仲間がない
20歳代(N=16)	50.0%	62.5%	0.0%	25.0%	50.0%	12.5%	25.0%
30歳代(N=41)	53.7%	26.8%	4.9%	34.1%	19.5%	7.3%	9.8%
40歳代(N=69)	46.4%	27.5%	5.8%	27.5%	20.3%	15.9%	13.0%
50歳代(N=64)	45.3%	31.3%	9.4%	26.6%	17.2%	18.8%	14.1%
60歳代(N=73)	30.1%	19.2%	20.5%	16.4%	13.7%	26.0%	12.3%
70歳以上(N=99)	9.1%	15.2%	64.6%	10.1%	12.1%	15.2%	10.1%

	場所や施設が近くにない	施設や教室の利用時間が合わない	スポーツに関する情報がない	指導者がいない	その他	特に理由はない
20歳代(N=16)	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	18.8%	0.0%
30歳代(N=41)	4.9%	14.6%	2.4%	2.4%	12.2%	4.9%
40歳代(N=69)	7.2%	4.3%	2.9%	1.4%	8.7%	8.7%
50歳代(N=64)	10.9%	9.4%	1.6%	0.0%	6.3%	7.8%
60歳代(N=73)	12.3%	4.1%	9.6%	1.4%	6.8%	8.2%
70歳以上(N=99)	15.2%	0.0%	4.0%	2.0%	3.0%	7.1%

▶どの点が変われば運動やスポーツを行うようになるのかについての調査では、「身近で行きやすい場所に施設や場所があること」が一番多く回答率は60%を超えています。

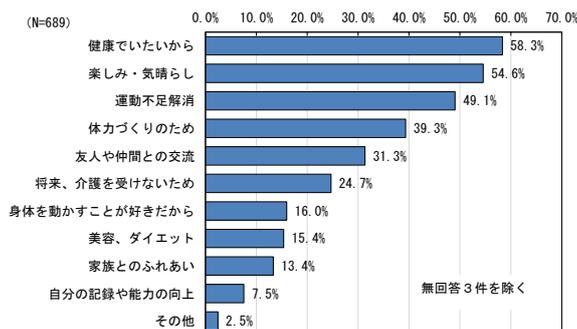
図表：スポーツを行うための改善点



◆運動やスポーツを行う目的

- ▶運動・スポーツを行った理由としては、「健康でいたいから」(58.3%)が最も多く、「楽しみ・気晴らし」(54.6%)、「運動不足解消」(49.1%)と続いています。
- ▶年齢別では、20代・30代は「楽しみ・気晴らし」の割合が非常に高く、年齢が上がると「健康でいたいから」とする人の割合が高く、60代・70代以上では、「将来介護を受けないため」とする割合が高くなっています。また、30代・40代では「家族とのふれあい」とする割合が他の年齢に比べ高い状況です。

図表：運動やスポーツを行う目的



図表：年齢別 運動やスポーツを行う目的

	健康でいたいから	楽しみ・気晴らし	運動不足解消	体力づくりのため	友人や仲間との交流	将来、介護を受けないため
20歳代(N=49)	40.8%	67.3%	46.9%	28.6%	32.7%	2.0%
30歳代(N=108)	38.9%	62.0%	45.4%	32.4%	28.7%	7.4%
40歳代(N=128)	42.2%	54.7%	46.9%	36.7%	18.8%	7.0%
50歳代(N=102)	54.9%	61.8%	53.9%	49.0%	35.3%	14.7%
60歳代(N=115)	68.7%	52.2%	50.4%	44.3%	35.7%	37.4%
70歳以上(N=176)	80.1%	43.2%	49.4%	38.6%	35.2%	50.0%

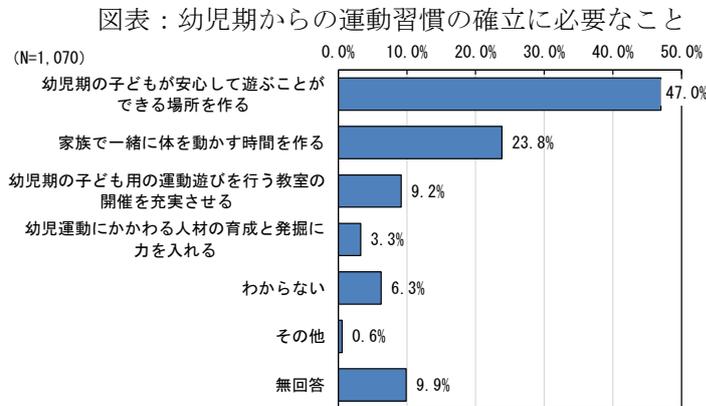
	身体を動かすことが好きだから	美容、ダイエット	家族とのふれあい	自分の記録や能力の向上	その他
20歳代(N=49)	18.4%	22.4%	4.1%	6.1%	8.2%
30歳代(N=108)	16.7%	22.2%	31.5%	10.2%	3.7%
40歳代(N=128)	13.3%	21.1%	23.4%	7.0%	2.3%
50歳代(N=102)	20.6%	19.6%	11.8%	13.7%	2.0%
60歳代(N=115)	12.2%	12.2%	1.7%	1.7%	0.9%
70歳以上(N=176)	15.3%	5.7%	5.7%	6.8%	1.7%

◆子どもの体力向上について

- ▶「学校で取り組むべきことは何か」の問で最も多かったものは、「体育の授業で「走る跳ぶ・投げる」という基本的な動作を多く学ぶ」(31.2%)で、次いで「休み時間や放課後に体を動かす時間を日常的に確保する」(23.2%)、「運動部活動に積極的に参加させる」(9.2%)となっています。
- ▶「家庭や地域で取り組むべきことは何か」の問では、「子どもたち同士で自由に遊べる時間を作る」(28.8%)が最も多く、次いで「家族と一緒に体を動かす時間を作る」(26.2%)、「地域で開催するスポーツ教室や総合型地域スポーツクラブを充実させる」(17.4%)となっています。

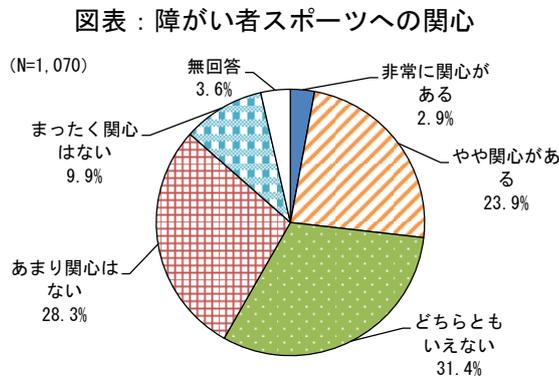
◆幼児期からの運動習慣の確立について

▶「幼児期からの運動習慣の確立に必要なことは何か」の問では、「幼児期の子どもが安心して遊ぶことができる場所を作る」と考えている人が47.0%と最も多く、次いで、「家族と一緒に体を動かす時間を作る」が23.8%、「幼児期の子ども用の運動遊びを行う教室の開催を充実させる」が9.2%となっています。



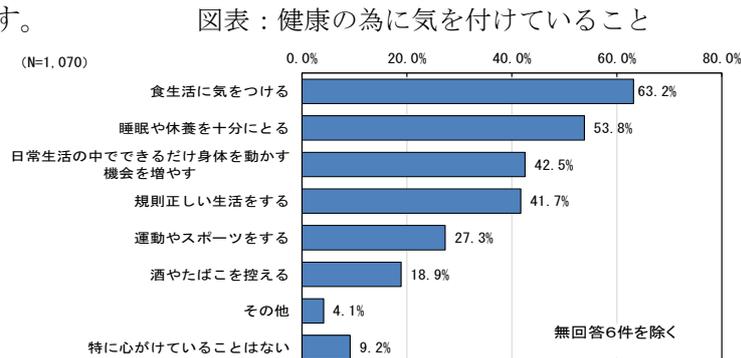
◆障がい者スポーツについて

▶障がい者スポーツへの関心をみると、「どちらともいえない」が31.4%と最も多く、次いで「あまり関心はない」が28.3%、「やや関心がある」が23.9%となっています。  
『関心がある』（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）人は26.8%、『関心はない』（「まったく関心はない」と「あまり関心はない」の合計）人は38.2%となっています。



◆健康とスポーツの関連性について

▶「健康や体力についてに心がけていることは何か」という問で「日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす」42.5%、「運動やスポーツをする」27.3%、の回答結果から、スポーツ（身体を動かす）をすること⇨健康に繋がる意識を持つ人が多い結果となっています。



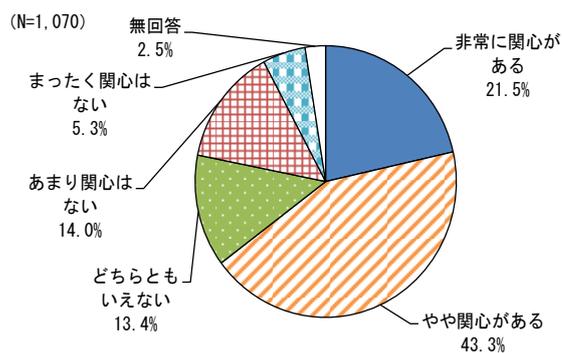
## (2)ふれるスポーツ

### ◆トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

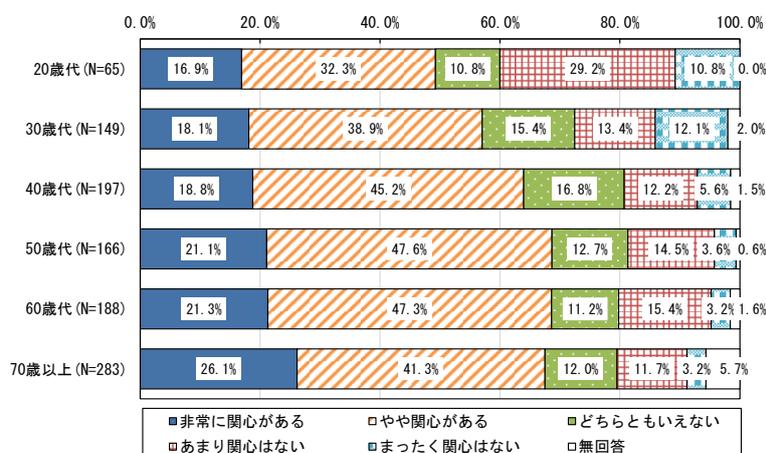
▶東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの関心をみると、『関心がある』（「非常に関心がある」と「やや関心がある」の合計）が 64.8%となっており、関心度は高いことが伺えます。

▶年齢別にみると、いずれの年齢でも「やや関心がある」が最も多く、3割を超えています。「非常に関心がある」は年齢が上がるとともに増加します。「あまり関心はない」では 20 歳代が 29.2%と他の年齢に比べて 1 割以上多くなっています。

図表：東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの関心



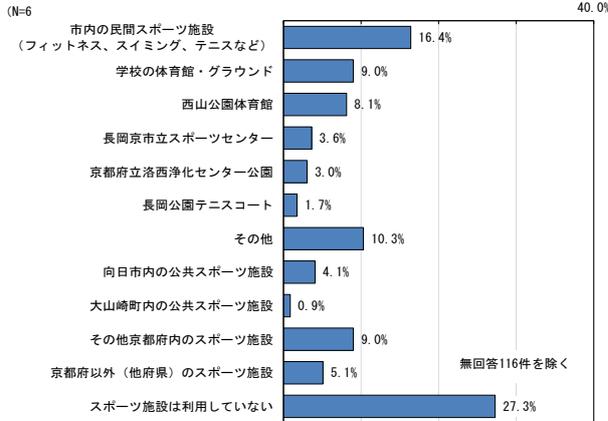
図表：年齢別 東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの関心



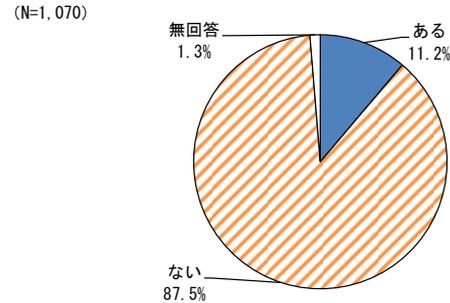
◆運動・スポーツ施設の利用や認知状況

▶学校開放施設（体育館）の利用状況は少なく、また学校開放施設自体の認知度は約 10%と非常に低い数値となっています。

図表：よく利用しているスポーツ施設



図表：学校体育施設の利用状況

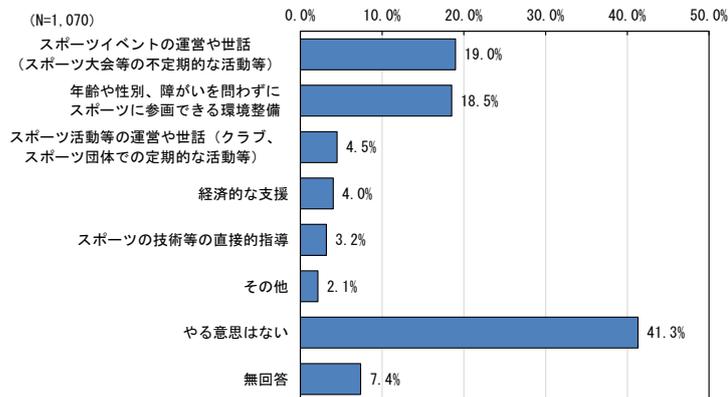


(3)支えるスポーツ

◆スポーツに関するさまざまな関わり方

▶スポーツボランティアとしてのイベントへの参加意向をみると、「やる意思はない」が 41.3%と最も多く、次いで「スポーツイベントの運営や世話（スポーツ大会等の不定期的な活動等）」が 19%、「年齢や性別、障がいに関わらずにスポーツに参画できる環境整備」が 18.5%でした。

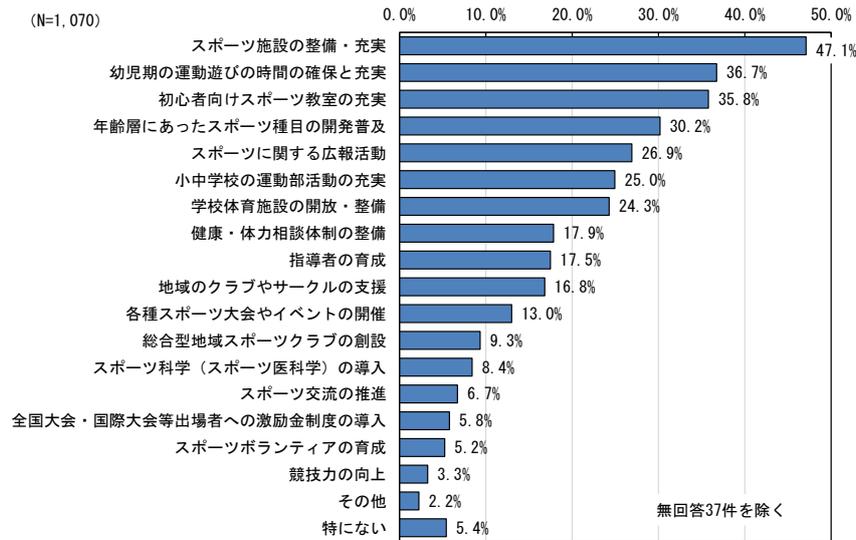
図表：スポーツボランティアとしてのイベントへの参加意向



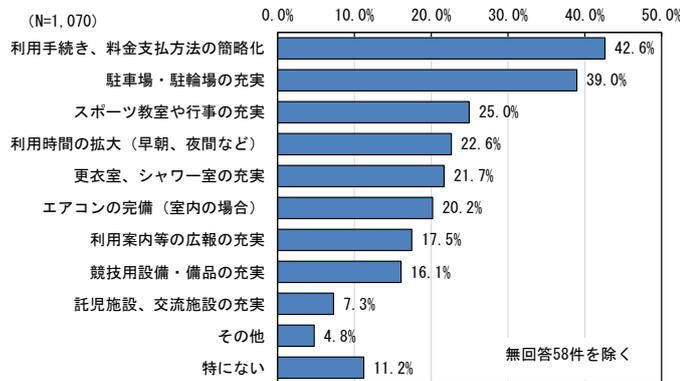
▶スポーツ振興のために長岡京市が取り組むべき施策でみると、「スポーツ施設の整備・充実」(47.1%)が最も多く、次いで「幼児期の運動遊びの時間の確保と充実」(36.7%)、「初心者向けスポーツ教室の充実」(35.8%)という結果です。

▶公共のスポーツ施設に対する要望として最も多かったことは、「利用手続き、料金支払い方法の簡略化」(42.6%)で、次いで「駐車場・駐輪場の充実」(39%)、「スポーツ教室や行事の充実」(25%)でした。

図表：スポーツ振興のために長岡京市が取り組むべき施策



図表：公共スポーツ施設に対する要望

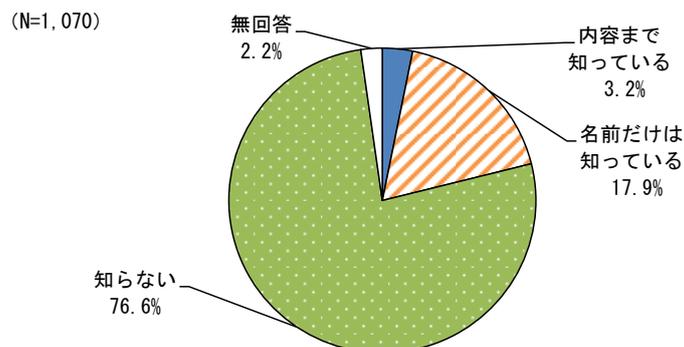


#### (4)つなげるスポーツ

##### ◆総合型地域スポーツクラブの認知度

▶総合型地域スポーツクラブの認知度をみると、「知らない」が76.6%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が17.9%、「内容まで知っている」が3.2%となっています。総合型地域スポーツクラブを「知らない」人は「知っている」人（「内容まで知っている」と「名前だけは知っている」の合計（21.1%））の約3.6倍となっています。

図表：総合型地域スポーツクラブの認知度



## 2. 新体力テスト結果

### (1)調査の概要

#### ◆調査内容

新体力テスト（文部科学省）

握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび
20Mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ

#### ◆実施期間

平成30年5月から7月

#### ◆実施人数

小学校：4,559人（10小学校）

中学校：2,019人（4中学校）

#### ◆比較対象

前年度の府・全国の数値と比較

### (2)調査結果について

#### ◆京都府平均からみる本市の結果

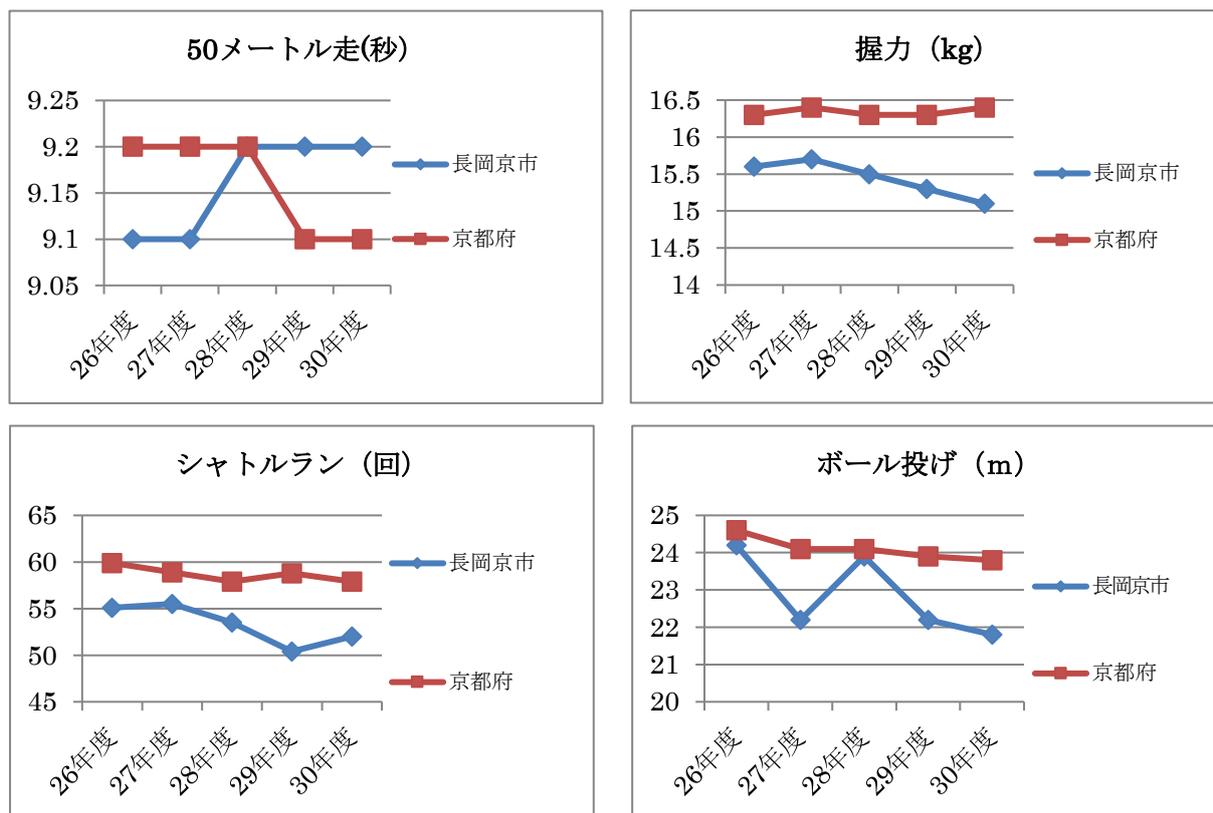
本市の新体力テストの平均値を、全学年の全項目（小・中学校男女別9学年×8種目＝144項目）で見ると、京都府平均を上回っている項目は、144項目中38項目となっており、依然として京都府平均を下回る項目が多く、全体を通して基礎体力の低下が懸念されます。

一方で、「50m走」では小・中学生ともに京都府平均又は平均を上回る状況で、走力やスピード能力は高い結果となっています。また、中学生の全学年男女共に筋持久力をみる「上体起こし」は、京都府平均又は平均を上回る状況で、柔軟性の「長座体前屈」、敏捷性の「反復横跳び」なども高い結果となっています。以上の結果から本市では、運動する・しないの二極化が見られることが課題となります。

項目	28年度		29年度		30年度	
	京都府平均以上	京都府平均未満	京都府平均以上	京都府平均未満	京都府平均以上	京都府平均未満
握力	1	17	1	17	1	17
上体起こし	8	10	6	12	9	9
長座体前屈	12	6	12	6	7	11
反復横とび	2	16	2	16	4	14
シャトルラン	3	15	3	15	2	16
50メートル走	12	6	7	11	13	5
立ち幅跳び	1	17	0	18	1	17
ボール投げ	1	17	0	18	1	17
合計	40	104	31	113	38	106

※小中9学年×8種目×男女＝144項目

図表：平成26年～平成30年度新体力テスト結果の推移（小学5年生男子）



### 3. 現行計画の数値目標の達成状況

目標が設定されている項目(1～4)では、目標を達成した項目は1つあり、目標が達成できなくとも当初の計画より数値が上回った目標は3つありました。

数値目標が設置されていない項目(5～6)では、施設の老朽化等に伴う修繕を定期的実施するなかで施設の機能の整備に努めました。また、京都府民総合体育大会では常時入賞を果たす等目標が達成できました。

No.	項目	計画当初	現状値(a)	目標値(b) 中間 (R1)	達成率% (a/b)
1	市民スポーツ実施率の向上	42.9	43.9	50.0	87.8%
2	総合型クラブの設立	5	8	10	80.0%
3	子どもの体力向上	項目の半数で京都府平均を上回る	上回った項目 38/144	上回った項目 72/144	52.8%
4	講座・研修会の充実	8	8	8	100%
5	運動・スポーツ施設の機能充実・整備	施設の整備・充実	修繕等の実施	施設の整備・充実	一部達成
6	京都府民総合体育大会で常時入賞	入賞	入賞	常時入賞	達成

## 4. 長岡京市のスポーツ推進の課題

### (1)するスポーツの課題

▶スポーツ実施率では、計画策定時点での令和元年度の目標値 50%に対して、現状では 43.9%と前回調査時より 1%の上昇に留まっています。年代別にみると、30～50 代が特に低い傾向にあり、運動・スポーツを行わない理由として、「忙しく時間がない」となっています。また、20 代は「はじめるきっかけがない」など「興味関心の低さ」による理由が多く、60 代以上の高齢者世代になると病気等の身体的理由から運動・スポーツを行う人が少なくなっていく傾向にあります。その為、年代ごとのライフステージに応じた課題解決のための取組が必要となります。

▶スポーツの持つイメージが、競技スポーツによる技術の上達と捉える傾向にあることから、身近な日常生活における主体的な身体活動の全てがスポーツであることを意識することで、よりスポーツへの興味や実施につながるものと考えます。その為に、わかりやすく効果的な情報発信が必要です。

▶子どもの体力について、最新の新体力テストの結果から、男女小中学校別の計 144 項目の内容のうち、京都府を上回る項目は 38 項目でした。過去 5 年間の推移から見ても京都府平均以上の項目数は低下傾向にあります。理由としては、日常生活の中で子どもが遊べる場所や機会が減少していることや、安全に遊べる場が確保されていないことが挙げられます。その為、児童期の体力向上への取組や、幼児期から運動習慣が身につけられる機会や場所の提供が課題となります。

▶障がい者スポーツへの関心度は 3 割を下回っており、認知度としては低い傾向にあります。その為、障がい者のスポーツ活動や、イベントに係る情報発信を効果的に行うことが重要です。

▶運動・スポーツに関するイベント全般の周知等、情報発信力の強化は継続的に取り組む必要があります。

▶健康を維持するための日常の取組として、食生活、睡眠・休養に次いで、「日常生活の中でできるだけ体を動かす機会を増やす」や「運動やスポーツをする」が多い状況にあります。また、全く運動していない人も、体を動かすことは健康に繋がるものと考えている傾向にあります。

### (2)ふれるスポーツの課題

▶東京 2020 オリンピック・パラリンピックへの関心をみると、6 割以上が関心を示しており、トップアスリートへの注目度は高いといえます。一方で 20 代の関心度は低い傾向にあり、若い世代のスポーツへの関心を高める為にトップアスリートと触れ合える機会

を増やすことが必要です。

▶学校体育施設の利用状況は、全体の約1割に留まっている状況です。利用実態として、学校開放事業の登録団体が固定化している傾向にあり、新規団体が参加しにくいことが原因であると考えられます。利用促進に向けた効果的な情報発信が課題となります。

### **(3)支えるスポーツの課題**

▶スポーツボランティアへの意識について、「やる意思はない」と回答した人が約40%となっており、ボランティアの魅力発信や各イベント時の情報提供方法を考える必要性があります。又、スポーツボランティアの内容に興味を持っている人が参加をしやすくなる働きかけが必要といえます。

▶スポーツを全くしない人がスポーツをする条件として、「身近で行きやすい場所に施設があること」という回答が6割を超えており、身近で便利な場所がスポーツ実施の条件となっています。

▶長岡京市のスポーツ施策において最も望まれているものは「スポーツ施設設備の充実」であり、全体の約50%が施設整備の希望をもっています。一方で、スポーツ施設については老朽化が進んでいることから、計画的な修繕・改修の実施や、競技スポーツに適した施設への建て替えが課題となります。

▶各種スポーツ大会等において、優秀な成績を収めた個人・団体を顕彰するため、表彰制度を設けているが、選手の大会参加への側面的支援や競技力向上のための意欲増進につなげるための新たな制度を検討する必要があります。

### **(4)つなげるスポーツの課題**

▶総合型地域スポーツクラブの認知度の調査結果について、約20%の回答率となっており、地域全体に浸透しているとは言えません。地域のスポーツクラブとしての役割を充実させる為にも指導等、認知度を向上させる必要があります。

▶総合型地域スポーツクラブの運営のための人材の確保が難しく、クラブの設立につながりにくいといった状況があります。

▶学校における働き方改革の影響により、今後部活動が制限されることで、児童がスポーツをする機会の減少が予想されます。その為、児童がスポーツを出来る場所や団体が必要となり、そのための支援が課題となります。

## 第3章 今後5年間に取り組む施策

### 1. 数値目標

計画後に制定された法律や前章の「長岡京市におけるスポーツの現状と課題」を踏まえ、数値目標を以下の通りとします。いずれの項目についても、最終目標を据え置きます。

No.	項目	計画当初	現状値(a)	最終目標値(b) (R6)
1	市民スポーツ実施率の向上	42.9	43.9	60.0
2	総合型クラブの設立	5	8	10
3	子どもの体力向上	項目の半数で京都府平均を上回る	上回った項目 38/144	項目の半数で京都府平均を上回る
4	講座・研修会の充実	8	8	8
5	運動・スポーツ施設の機能充実・整備	施設整備・充実	修繕等の実施	施設整備・充実
6	京都府民総合体育大会で常時入賞	常時入賞	入賞	常時入賞

### 2. 実施施策

前章におけるスポーツの課題を踏まえ、既存の実実施策の継続及び拡充を行いました。また、修正した数値目標を達成する為に、新規項目を加え、「するスポーツ」「ふれるスポーツ」「支えるスポーツ」「つなげるスポーツ」ごとに整理をしました。

#### (1) するスポーツ

##### ① 全市的な運動・スポーツイベントの開催 【拡充】

- ▶ 運動・スポーツをする、継続して行うきっかけづくりとなるような、全市的なイベントの開催に継続して取り組みます。また、運動・スポーツをより身近に感じられるように、市民スポーツフェスティバルや総合型クラブフェスティバルを開催します。
- ▶ 身近な日常生活における主体的な身体活動の全てがスポーツであるという啓発を行い、市民の意識を変えることで、よりスポーツへの興味や実施率の向上につなげます。

#### 主な施策・事業

- 市民大運動会やガラシャロードレースの開催
- 市民スポーツフェスティバル、総合型クラブフェスティバルの実施
- 新たな全市的な運動・スポーツイベントの検討
- 健康づくりを意識したスポーツ（健康マイレージ事業）の推進【新規】
- スポーツと他の分野（観光、食文化、文化財）などの組合せによる、スポーツとは異なる側面から興味関心を引くような事業の検討【新規】

## ②地域の運動・スポーツイベントの充実 【継続】

▶市民にとって身近で、参加しやすい地域単位での運動・スポーツイベントを充実させることで、市民の運動・スポーツ実施率の向上、心身の健康増進を図ります。

### 主な施策・事業

- 地域・スポーツ振興事業の実施

## ③子どもの運動・スポーツの充実 【拡充】

▶子どもの体力・運動能力低下に歯止めをかける為に、幼児期からの運動習慣の定着及び運動環境の整備、保護者への啓発活動に取り組みます。また、スポーツ少年団を支援することで、地域で子どもがスポーツの出来る環境の整備に取り組みます。

### 主な施策・事業

- 各小学校区で幼児期を対象にした運動イベントの実施 **【新規】**
- 親子で参加できる運動・スポーツ教室やイベントの開催
- スポーツ少年団、学校運動部活動の支援
- 新体力テストを活用した学校体育における取組の検討

## ④ニーズに合わせた運動・スポーツイベントの充実 【継続】

▶それぞれ運動・スポーツをする人に合わせたイベントや教室を実施し、心身の健康の増進に取り組みます。

### 主な施策・事業

- 各年代・ニーズに合わせた運動・スポーツイベントの実施
- 誰でも親しむことができる、運動・スポーツ種目の検討
- 障がい者や高齢者等、共に参加できる運動やスポーツ機会の検討

## ⑤競技力向上のための、指導体制の充実 【継続】

▶学校部活動や競技団体の活動に、地域の運動・スポーツ指導者を活用できる体制作りに取り組み、競技力の向上を図ります。

### 主な施策・事業

- 学校部活動や競技団体への指導者派遣体制の構築
- 各種目の指導者間交流の実施

## ⑥情報発信の強化

【拡充】

▶体を動かすための場所や運動・スポーツ教室の開催情報など、情報を知り、体を動かすきっかけがうまれるように、ホームページなどさまざまなツールを活用し、運動・スポーツに関する情報発信の強化に取り組みます。

### 主な施策・事業

#### ●スポーツの捉え方に係る意識改革の実施【新規】

●運動・スポーツ教室や、全市的なイベントの周知

●障がい者スポーツ、女性スポーツ活動や、高齢者の健康増進活動の啓発

●長岡京市ゆかりの選手の活躍情報の掲載

## (2)ふれる スポーツ

### ①トップアスリートと交流する機会の確保

【継続】

▶京都府の事業などを活用し、トップレベルで活躍するアスリートのプレーを見ることで、運動・スポーツに対する興味関心を高めます。

### 主な施策・事業

●学校教育におけるトップアスリートとの交流機会の確保

●トップアスリートを招いた講演会などの検討

### ②運動・スポーツ観戦機会の充実

【継続】

▶パブリックビューイングや試合観戦など、多くの人々が一体となってスポーツにみる機会を設けることにより、運動・スポーツをとおした一体感、感動、興奮にふれ、運動・スポーツに対する興味関心を高めます。

### 主な施策・事業

●パブリックビューイングなど集団観戦できるイベントの実施

●プロスポーツと連携した観戦機会の提供

### ③全国大会の実施

【継続】

▶若葉カップなどの全国大会の継続実施を行うことで、多くの人にスポーツにふれる機会を提供します。

### 主な施策・事業

●若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施

#### ④運動・スポーツ施設の連携と利用時間の拡大 【継続】

▶より多くの市民が運動・スポーツをすることができるように運動・スポーツを行う場所と時間の確保に取り組みます。

##### 主な施策・事業

- 市外の運動・スポーツ施設との連携方法の検討
- 学校体育施設の利用区分変更の検討

### (3)支える スポーツ

#### ①スポーツボランティアの登用 【拡充】

▶支えるスポーツの代表ともいえるスポーツボランティアを活用することで、運動・スポーツに対する多様な関わり方の機会を提供します。

##### 主な施策・事業

- 若葉カップ、ガラシャロードレースなどでのスポーツボランティアの活用
- スポーツボランティアが活躍できる機会の検討

#### ②研修会や講座の充実 【継続】

▶運動・スポーツの指導者や、子どもが運動・スポーツをしている保護者などに向けて支えるスポーツに必要な知識を得るための研修会や講座を実施します。

##### 主な施策・事業

- 指導者向け研修会の定期的な開催
- スポーツ推進委員による研修会や講座の実施
- 運動・スポーツに関わる様々な講座の実施

#### ③運動・スポーツ施設の整備 【拡充】

▶既存の運動・スポーツ施設の改修などを実施し、運動・スポーツを行うために必要な環境の整備に取り組みます。

##### 主な施策・事業

- 競技スポーツに対応した施設整備の推進
- 運動・スポーツ施設の改修、機能アップ、備品の更新

#### ④スポーツ賞の充実 【継続】

▶運動・スポーツ分野において顕著な成績を収めた者、団体に対して授与されるスポーツ賞を授与します。また、国際大会・全国大会等の出場（個人・団体）に対する支援・激励の仕組みについて検討します。

##### 主な施策・事業

- スポーツ賞の充実
- 国際大会・全国大会等に出場する個人・団体に対する新たな支援や激励の仕組みの検討

#### ⑤民間企業との連携

【継続】

▶民間企業と行政とが協力、連携し、さまざまな手法で市民スポーツの振興に取り組みます。

#### 主な施策・事業

●若葉カップなどの運動・スポーツ大会への支援

#### ⑥総合型地域スポーツクラブの支援

【継続】

▶地域スポーツ振興の拠点となる、総合型地域スポーツクラブを推進すべく、総合型地域スポーツクラブの活動、設立に対しての支援に取り組みます。

#### 主な施策・事業

●地域スポーツの推進につながる総合型スポーツクラブ活動への支援  
●各総合型スポーツクラブの活性化、設立のための情報交換会の実施

### (4)つなげるスポーツ

#### ①運動・スポーツ大会の支援

【継続】

▶同じ運動・スポーツの愛好者が集う場である市長杯をはじめとする大会実施について支援を行い、愛好者同士の交流を図ります。また、年齢や障がいの有無にかかわらず、さまざまな人が参加できる運動・スポーツイベントを実施し、人々のつながりを創出し、交流を図ります。

#### 主な施策・事業

●各運動・スポーツ種目協会への支援  
●さまざまな人が参加できる運動・スポーツイベントの検討

#### ②国際交流

【継続】

▶外国との運動・スポーツ交流の実施、また、国際大会を観戦することにより、運動・スポーツをとおして世界とつながる機会の提供に取り組みます。

#### 主な施策・事業

●長岡京市と外国とのスポーツ交流の実施

#### ③学校部活動の連携

【継続】

▶市内にある小学校、中学校、高等学校の連携強化の取組や学校部活動以外での地域におけるスポーツ活動機会の確保に取り組みます。

#### 主な施策・事業

●学校間や学校と地域の連携方法の検討

#### ④総合型地域スポーツクラブの協働

【継続】

▶市内の団体だけでなく、市外や府外の団体などと協働してイベントなどを実施することにより、総合型地域スポーツクラブ活動の充実に取り組みます。

#### 主な施策・事業

- 市外、京都府外の団体との連携、協働事業の実施

#### ⑤運動・スポーツ組織の連携強化

【継続】

▶行政やスポーツ協会をはじめとする運動・スポーツに関わる組織の連携強化につとめ、長岡京市のスポーツ振興に取り組みます。

#### 主な施策・事業

- 行政やスポーツ推進委員、スポーツ協会や各種スポーツ団体等が交流する機会の確保。
- 複数の組織が連携して行う運動・スポーツイベントの検討

#### ⑥障がい者スポーツの振興

【拡充】

▶障がい者が体を動かし、スポーツに親しむ機会を確保するとともに、障がいの有無にかかわらず、共に運動・スポーツを楽しむことができる機会の創出に取り組みます。

#### 主な施策・事業

- 障がい者スポーツフェスティバルなどの支援
- 障がいの有無にかかわらず、誰もが参加できる運動・スポーツイベントの検討
- 障がい者団体との交流と連携【新規】

## 【資料編】

## 過去5年間の事業実績

前項の数値目標の達成状況のうち、目標達成のため「する」「ふれる」「支える」「つなげる」スポーツの事業実績のうち、主に実施した事業は下記のとおりです。

### (1)するスポーツの実績

#### ◆全市的な運動・スポーツイベントの開催

- ・市民大運動会
- ・ガラシャロードレース
- ・市民スポーツフェスティバル
- ・総合型クラブフェスティバル
- ・ポールハイキング enjoy フェスタ
- ・みんなのスポーツデー
- ・障がい者スポーツフェスティバル
- ・全国ファミリーバドミントン大会
- ・あらたな全市的な運動・スポーツイベントの検討

⇒市民大運動会における「長岡京ギネス」を新しく実施し、市全体のスポーツ活動の一層の普及促進と住民交流による地域の活性化を図りました。

#### ◆地域の運動・スポーツイベントの充実

- ・地域スポーツ振興事業の実施

⇒校区で取り組まれている事業へ助成し、地域スポーツ推進に取り組みました。

#### ◆子どもの運動・スポーツの充実

- ・親子で参加できる運動・スポーツ教室やイベントの開催

⇒スポーツ推進委員協議会と京都サンガF.C.の共催による親子で遊ぶボール遊びを毎年開催

- ・スポーツ少年団、学校運動部活動の支援

⇒スポーツ少年団の育成として少年団が実施する本部長杯争奪大会事業への助成

⇒小学生体験教室事業の実施

⇒スポーツ少年団交流事業の実施

- ・新体力テストを活用した学校体育における取組の検討

⇒体育授業のなかで補強運動実施

体幹強化（上体起こし）…手押し車、アザラシ

持久力（シャトルラン）…切り替え笛ダッシュ、インターバル

運動神経伝達（反復横跳び）…ラダー、フラフープ

⇒遊びの中で補強運動

投てき（ソフトボール投げ）…紙でっぽう

運動神経伝達（反復横跳び）…あんたがたどこさ（左右ジャンプ）

大縄跳び

◆ニーズに合わせた運動・スポーツイベントの充実

- ・高齢者、障がい者が参加できる運動・スポーツイベントの実施

⇒障がい者スポーツフェスティバルの実施

⇒「あすチャレ運動会」の実施（H30）

◆競技力向上のための、指導体制の充実

- ・学校部活動や競技団体への指導者派遣体制の構築

⇒国体選手派遣事業の活用

## (2)ふれるスポーツの実績

◆運動・スポーツ観戦機会の充実

- ・パブリックビューイングなど集団観戦できるイベントの実施

⇒FIFA 女子ワールドカップサッカー カナダ 2015（海堀選手）

⇒2016年リオデジャネイロオリンピック（高橋選手）

⇒第90回記念選抜高等学校野球大会（乙訓高校）

⇒2018FIFA ワールドカップ ロシア（宇佐美選手）

- ・プロスポーツと連携したスポーツ観戦ツアーの検討

⇒民間レベルで実施

◆全国大会の実施、誘致

- ・若葉カップ全国小学生バドミントン大会の実施

## (3)支えるスポーツの実績

◆スポーツボランティアの登用

- ・若葉カップ、市民マラソンなどでスポーツボランティアの活用

⇒スポーツボランティア制度の構築

◆研修会や講座の充実

- ・スポーツ少年団指導者研修
- ・スポーツ団体連合会役員指導者研修
- ・スポーツボランティア講座
- ・アクティブチャイルドプログラム普及促進講習会
- ・乙訓地区スポーツ指導者研修会
- ・ニュースポーツ教室
- ・明日へのチャレンジあすチャレ！
- ・スポーツ推進委員による情報交換会

◆運動・スポーツ施設の整備

- ・H30年度は大阪府北部地震により生じた西山公園体育館（大体育室、小体育室、武道

場) の改修工事とスポーツセンター体育館の安全点検工事を実施。

- ・ H29 年度は西山公園体育館のトイレ等改修工事を実施。
- ・ H28 年度は西山公園体育館の屋根・空調設備等改修工事を実施。

#### **(4)つなげるスポーツの実績**

##### **◆国際交流**

- ・ 長岡京市と外国とのスポーツ交流の実施

⇒未来への種まきプロジェクト (H29 ラオス、H30 中国)



# スポーツに関する市民意識調査 報告書 (ダイジェスト版)



平成31年3月  
長岡京市



かして暮らしっく

長岡京

# I 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、市民のスポーツに関する活動やその実態などについて調査し、平成 25 年に実施した調査結果と比較することで、今後の長岡京市におけるスポーツ振興の在り方について検討するための基礎資料とすることを目的としています。

## 2. 調査項目

- (1) 基本属性
- (2) 健康や体力について
- (3) スポーツ活動の状況について
- (4) 公共スポーツ施設について
- (5) 学校体育施設について
- (6) クラブや同好会、教室について
- (7) 市内のスポーツ行事及び団体について
- (8) 障がい者スポーツの振興について
- (9) 子どもの体力向上について
- (10) 今後のスポーツ振興の為に必要な施策について

## 3. 調査設計及び回収結果

調査対象	長岡京市在住の 20 歳以上の方（無作為抽出）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査期間	平成 30 年 9 月 21 日（金）～10 月 22 日（月）
対象者数	2,100
有効回答数	1,072
有効回答率	51.0%

## 4. 報告書の見方

- (1) 図中の N（Number of case）は設問に対する回答者数のことです。
- (2) 数表の集計区分ごとの集計母数は単数回答では「合計」、複数回答では「有効回答数」となっています。
- (3) 回答比率（%）は回答者数を 100%として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがあります。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の計は 100.0%を超えます。
- (4) 比較をしている前回調査は、平成 25 年度に実施した「スポーツに関する市民意識調査」のことを指します。

## 主な調査結果

### 【スポーツ実施率について】

○週1回以上運動・スポーツをした人の割合は、43.9%（H25：42.9%）、週3回以上では、30.9%（H25：29.8%）、運動やスポーツはしなかった人の割合は34.7%（H25：32.4%）でした。

※週1日以上運動・スポーツをする人の割合は、全国51.5%、京都府48.7%、週3日以上では、全国26%、京都府24.7%、運動やスポーツをしなかった人の割合は、全国20.7%、京都府12.2%

### 【運動・スポーツを行った理由・行わなかった理由について】

○運動・スポーツを行った理由としては、「健康でいたいから」（58.3%）が最も多く、「楽しみ・気晴らし」（54.6%）、「運動不足解消」（49.1%）と続いています。

○運動・スポーツをしなかった理由としては、「仕事など忙しく時間がないから」（34.2%）、「はじめるきっかけがない」（25.1%）、「病気・高齢など身体的な理由」（24.8%）と続いています。どの年齢層も、運動・スポーツをしない理由として最も多いのが「仕事が忙しく時間がない」というものでした。また、20歳代は「はじめるきっかけがない」（62.5%）、「苦手・嫌い・興味がない」（50%）と回答する人も多い結果となりました。

### 【する・ふれる・支える・つなげるスポーツについて】

○この1年間に運動やスポーツをした人は64.3%で、内容としては、「ウォーキング」（53.1%）が最も多く、「体操」（19.7%）、「ジム・トレーニング」（13.5%）と続いています。

○今後行いたい運動やスポーツについては、「ウォーキング」（54.1%）、「登山・ハイキング」（21%）、「体操」（19%）と続いています。

○スポーツボランティアとしてのイベント等への参加意欲を見ると、「スポーツイベントの運営や活動等」（19%）、「スポーツに参画できる環境整備」（18.5%）の他「経済的な支援」や「スポーツ技術等の直接的指導」など、何らかのかたちでボランティアに関わりたいと思う方が全体の51.3%を占める一方で、「やる意思はない」とする人が41.3%ありました。

○東京2020オリンピック・パラリンピックへの関心は、「非常に関心がある」「やや関心がある」とする人の割合は、64.8%で、年齢が上がるとともに、関心度も増加傾向でした。

一方で、20歳代は「あまり関心はない」「まったく関心がない」と回答した人の割合が40%となっており、他の年齢に比べて2割以上多くなっています。

## 【スポーツ施設について】

○公共スポーツ施設に望むことでは、「利用手続き・料金支払方法の簡略化」(42.6%)が最も多く「駐車場・駐輪場の充実」(39%)「スポーツ教室や行事の充実」(25%)へと続いています。

## 1. 健康や体力について

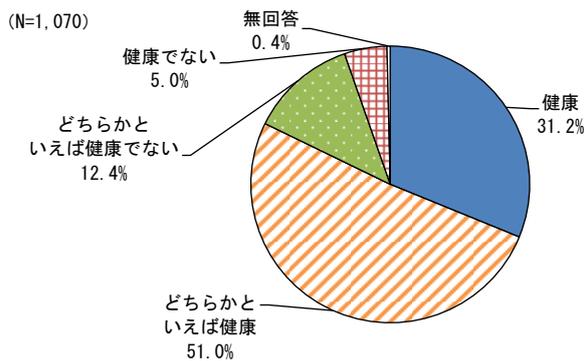
### (1)健康状態

問7 あなたは、ご自身の健康状態をどのように感じていますか。(○は1つ)

健康状態をみると、「どちらかといえば健康」が51.0%と最も多く、次いで「健康」が31.2%、「どちらかといえば健康でない」が12.4%となっています。

『健康』（「どちらかといえば健康」と「健康」の合計）と感じている人が82.2%、『健康でない』（「健康でない」と「どちらかといえば健康でない」の合計）と感じている人が17.4%となっています。

図表：健康状態



◆前回調査との比較

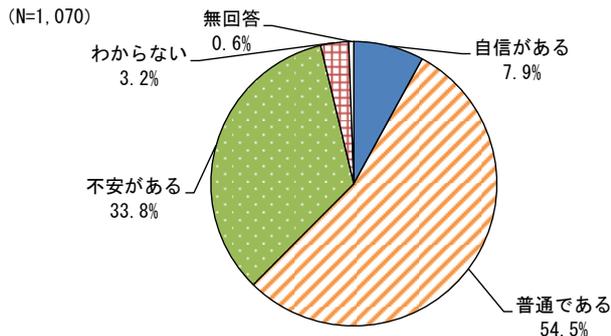
	(前回)	(今回)
健康	37.7%	31.2%
どちらかといえば健康	49.6%	51.0%
どちらかといえば健康でない	9.4%	12.4%
健康でない	2.5%	5.0%
無回答	0.8%	0.4%
調査数	977	1,070

### (2)体力に関する認識

問8 あなたは、ご自身の体力についてどのように思いますか。(○は1つ)

体力に関する認識をみると、「普通である」が54.5%と最も多く、次いで「不安がある」が33.8%、「自信がある」が7.9%となっており、自身の体力が普通であったり、自信があると感じている人が過半数を超えています。

図表：体力に関する認識



◆前回調査との比較

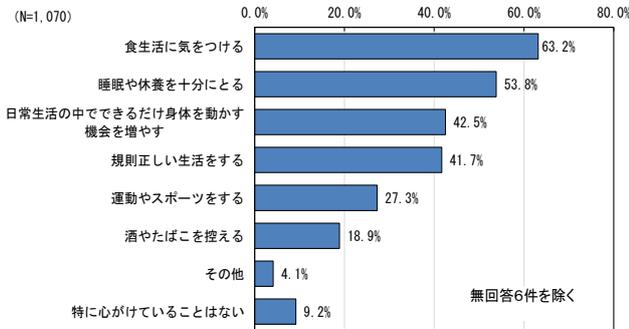
	(前回)	(今回)
自信がある	8.7%	7.9%
普通である	63.5%	54.5%
不安がある	25.5%	33.8%
わからない	1.4%	3.2%
無回答	0.9%	0.6%
調査数	977	1,070

### (3)健康や体力について心がけていること

問9 健康や体力について心がけていることは何ですか。(〇はいくつでも)

健康のために気を付けていることをみると、「食生活に気をつける」が63.2%と最も多く、次いで「睡眠や休養を十分にとる」が53.8%、「日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす」が42.5%となっています。

図表：健康のために気を付けていること



◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
食生活に気をつける	60.4%	63.2%
睡眠や休養を十分にとる	53.3%	53.8%
日常生活の中でできるだけ身体を動かす機会を増やす	39.2%	42.5%
規則正しい生活をする	38.2%	41.7%
運動やスポーツをする	31.0%	27.3%
酒やたばこを控える	16.2%	18.9%
その他	11.5%	4.1%
特に心がけていることはない	4.1%	9.2%
調査数	977	1,070

## 2. スポーツ活動の状況について

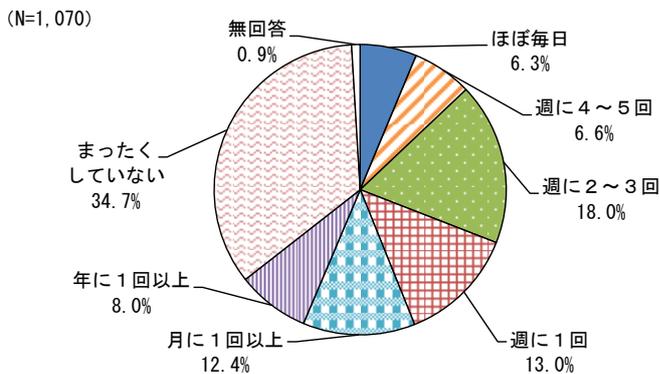
### (1)運動やスポーツを行う頻度

問10 あなたは、この1年間で運動やスポーツをどのくらいの頻度で行いましたか。(〇は1つ)

運動やスポーツを行う頻度をみると、「まったくしていない」が34.7%と最も多く、次いで「週に2～3回」が18.0%、「週に1回」が13.0%となっています。

週に1回以上スポーツを行っている人が43.9%いる一方で、まったくしていない人も3割を超えています。

図表：運動やスポーツを行う頻度



◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
ほぼ毎日	7.0%	6.3%
週に4～5回	7.7%	6.6%
週に2～3回	15.1%	18.0%
週に1回	13.1%	13.0%
月に1回以上	13.6%	12.4%
年に1回以上	8.2%	8.0%
まったくしていない	32.4%	34.7%
無回答	2.9%	0.9%
調査数	977	1,070

《参考》

週1日以上運動・スポーツする人の割合 全国 51.5%、京都府 48.7%

### (2)この1年間に運動した人の割合

「運動した」(64.3%) 「まったくしていない」(34.7%)

### (3)現在行っている運動やスポーツ

問 12 具体的にどのような運動やスポーツを行っていますか。(〇はいくつでも)

現在行っている運動やスポーツをみると、「ウォーキング（散歩含む）」が53.1%と最も多く、次いで「体操（健康体操など）」が19.7%、「ジムトレーニング」が13.5%となっています。

図表：現在行っている運動やスポーツ（前回調査との比較）

	回答数	構成比（今回）	（前回）
ウォーキング（散歩含む）	366	53.1%	35.9%
体操（健康体操など）	136	19.7%	11.5%
ジムトレーニング	93	13.5%	6.8%
ゴルフ	88	12.8%	7.9%
登山、ハイキング	77	11.2%	8.8%
ランニング、ジョギング	62	9.0%	7.5%
水泳、水中ウォーキング	56	8.1%	6.1%
サイクリング	48	7.0%	5.3%
ヨガ、ピラティス	44	6.4%	3.6%
ダンス、エアロビクス	38	5.5%	3.2%
テニス、ソフトテニス	38	5.5%	3.4%
海水浴（遊泳）	35	5.1%	2.1%
釣り	29	4.2%	4.0%
スキー、スノーボード	28	4.1%	3.9%
ボウリング	27	3.9%	3.3%
キャンプなどの野外活動	24	3.5%	1.9%
卓球	23	3.3%	1.7%
野球、ソフトボール	22	3.2%	2.5%
バドミントン	19	2.8%	1.7%
サッカー、フットサル	17	2.5%	2.3%
軽い球技（キャッチボールなど）	17	2.5%	1.4%
バレーボール、ビーチバレー	15	2.2%	1.6%
陸上競技（マラソン含む）	10	1.5%	0.8%
太極拳	10	1.5%	0.8%
ファミリーバドミントン	10	1.5%	0.8%
グラウンドゴルフ	9	1.3%	2.6%
ショートテニス	9	1.3%	0.2%
バスケットボール	8	1.2%	1.2%
ミニバレーボール	7	1.0%	0.9%
社交ダンス、民謡踊り	7	1.0%	0.9%
アイススケート	7	1.0%	0.3%
乗馬	7	1.0%	0.3%
ソフトバレーボール	6	0.9%	0.4%
空手、拳法、合気道	6	0.9%	0.6%
カヌー、サーフィン、スキューバダイビング	6	0.9%	0.7%
競泳（水泳競技）	5	0.7%	0.2%
剣道、柔道、相撲、レスリング	5	0.7%	0.8%
ラグビー、アメリカンフットボール	4	0.6%	0.3%
ゲートボール	2	0.3%	0.1%
弓道、アーチェリー	2	0.3%	0.0%
スポーツ吹矢	2	0.3%	0.3%

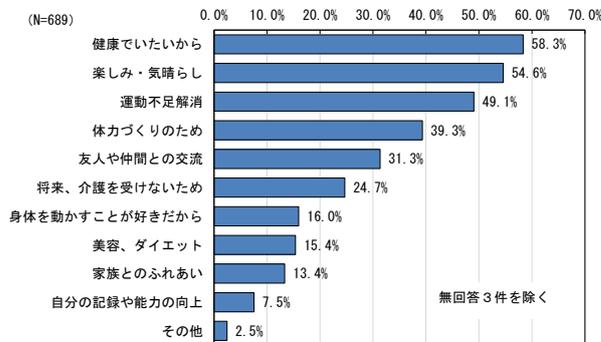
ハンドボール	1	0.1%	0.0%
カローリング	1	0.1%	0.0%
ペタンク	0	0.0%	0.2%
その他の軽いスポーツ	46	6.7%	4.8%
その他の競技的スポーツ	7	1.0%	1.1%
その他の野外スポーツ	2	0.3%	0.6%
有効回答数	689		

#### (4)運動やスポーツを行う目的

問 13 運動やスポーツを行う目的は何ですか。(〇はいくつでも)

運動やスポーツを行う目的をみると、「健康でいたいから」が 58.3%と最も多く、次いで「楽しみ・気晴らし」が 54.6%、「運動不足解消」が 49.1%となっています。

図表：運動やスポーツを行う目的



#### ◆前回調査との比較

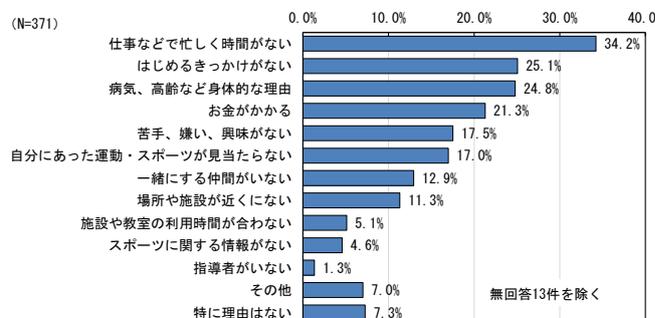
	(前回)	(今回)
健康でいたいから	43.1%	58.3%
楽しみ・気晴らし	38.5%	54.6%
運動不足解消	33.2%	49.1%
体力づくりのため	43.1%	39.3%
友人や仲間との交流	22.6%	31.3%
将来、介護を受けないため	—	24.7%
身体を動かすことが好きだから	—	16.0%
美容、ダイエット	7.1%	15.4%
家族とのふれあい	7.4%	13.4%
自分の記録や能力の向上	5.2%	7.5%
その他	1.5%	2.5%
調査数	632	689

#### (5)運動やスポーツを行わない理由

問 15 運動やスポーツを行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)  
※【問 10 で「7. まったくしていない」と回答した方にお聞きします】

運動をまったくしていない人の運動やスポーツを行わない理由をみると、「仕事などで忙しく時間がない」が 34.2%と最も多く、次いで「はじめるきっかけがない」が 25.1%、「病気、高齢など身体的な理由」が 24.8%となっています。

図表：運動やスポーツを行わない理由



#### ◆前回調査との比較

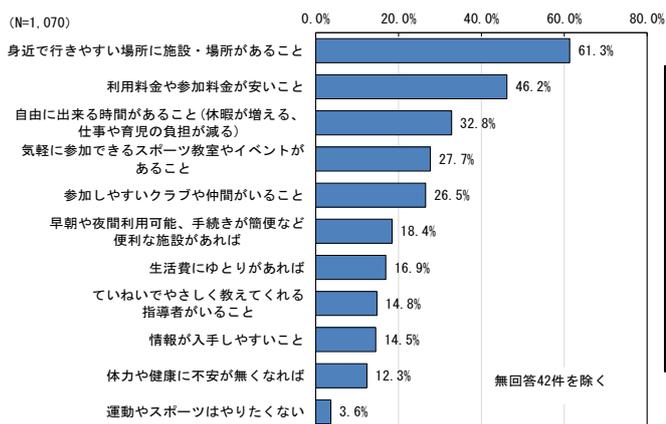
	(前回)	(今回)
仕事などで忙しく時間がない	14.6%	34.2%
はじめるきっかけがない	10.1%	25.1%
病気、高齢など身体的な理由	5.9%	24.8%
お金がかかる	7.9%	21.3%
苦手、嫌い、興味が無い	7.4%	17.5%
自分にあった運動・スポーツが見当たらない	6.2%	17.0%
一緒にする仲間がない	5.5%	12.9%
場所や施設が近くにない	3.2%	11.3%
施設や教室の利用時間が合わない	3.5%	5.1%
スポーツに関する情報がない	2.6%	4.6%
指導者がいない	0.6%	1.3%
その他	4.4%	7.0%
特に理由はない	—	7.3%
調査数	317	371

## (6)スポーツを行うための改善点

問 16 どの点が変われば（さらに）運動やスポーツを行うようになると思いますか。  
（〇はいくつでも）

スポーツを行うための改善点をみると、「身近で行きやすい場所に施設・場所があること」が 61.3%と最も多く、次いで「利用料金や参加料金が安いこと」が 46.2%、「自由に出来る時間があること（休暇が増える、仕事や育児の負担が減る）」が 32.8%となっています。

図表：スポーツを行うための改善点



### ◆前回調査との比較

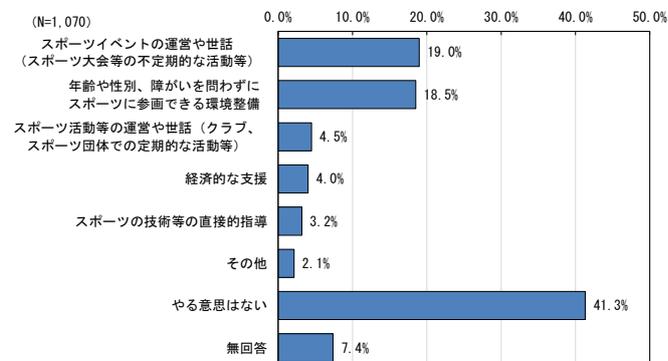
	(前回)	(今回)
身近で行きやすい場所に施設・場所があること	54.4%	61.3%
利用料金や参加料金が安いこと	40.6%	46.2%
自由に出来る時間があること（休暇が増える、仕事や育児の負担が減る）	34.2%	32.8%
気軽に参加できるスポーツ教室やイベントがあること	25.5%	27.7%
参加しやすいクラブや仲間がいること	24.3%	26.5%
早朝や夜間利用可能、手続きが簡便など便利な施設があれば	15.8%	18.4%
生活費にゆとりがあれば	20.1%	16.9%
ていねいでやさしく教えてくれる指導者がいること	14.1%	14.8%
情報が入手しやすいこと	12.6%	14.5%
体力や健康に不安が無くなれば	9.2%	12.3%
運動やスポーツはやりたくない	3.8%	3.6%
調査数	977	1,070

## (7)スポーツボランティアとしての参加意欲

問 21 近年、オリンピックやパラリンピックなどさまざまなスポーツイベントの開催や運営を支える「スポーツボランティア」が注目されています。あなたが、今後このような活動を行うとしたら、どのようなことをしてみたい、また、どのようなことならしてもよいと思いますか。（〇は1つ）

スポーツボランティアとしてのイベントへの参加意向をみると、「やる意思はない」が 41.3%と最も多く、次いで「スポーツイベントの運営や世話（スポーツ大会等の不定期的な活動等）」が 19.0%、「年齢や性別、障がいを問わずにスポーツに参画できる環境整備」が 18.5%となっています。

図表：スポーツボランティアとしてのイベントへの参加意向



### ◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
スポーツイベントの運営や世話（スポーツ大会等の不定期的な活動等）	17.4%	19.0%
年齢や性別、障がいを問わずにスポーツに参画できる環境整備	14.8%	18.5%
スポーツ活動等の運営や世話（クラブ、スポーツ団体での定期的な活動等）	6.1%	4.5%
経済的な支援	3.6%	4.0%
スポーツの技術等の直接的指導	4.0%	3.2%
その他	2.7%	2.1%
やる意思はない	40.4%	41.3%
無回答	11.0%	7.4%
調査数	977	1,070

## (8)スポーツボランティアを行うきっかけ

問 22 あなたは、どんなきっかけがあれば、スポーツボランティアを行いますか。  
(〇はいくつでも)

スポーツボランティアを行うきっかけをみると、「人との交流・出会い」が48.6%と最も多く、次いで「好きなスポーツに関わることができる」が35.2%、「家族・友人の参加」が31.5%となっています。

図表：スポーツボランティアを行うきっかけ



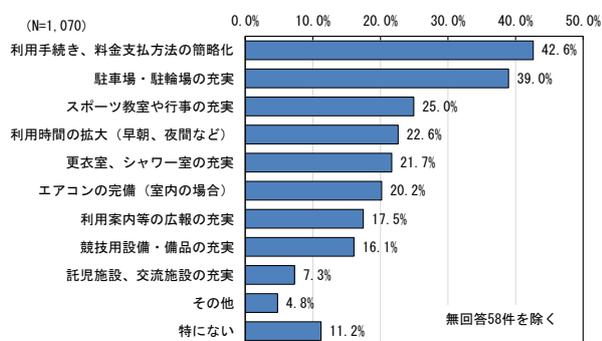
## 3. 公共のスポーツ施設について

### (1)公共のスポーツ施設に対する要望

問 24 公共スポーツ施設を利用する上で（利用するとして）、どのような点を望みますか。（〇は3つまで）

公共スポーツ施設に対する要望をみると、「料金手続き、料金支払方法の簡略化」が42.6%と最も多く、次いで「駐車場・駐輪場の充実」が39.0%、「スポーツ教室や行事の充実」が25.0%となっています。

図表：公共スポーツ施設に対する要望



#### ◆前回調査 参考

	(前回) 上位五位
料金手続き、支払方法の簡略化	43.7%
スポーツ教室や行事の充実	25.9%
利用時間の拡大	24.2%
更衣室、シャワー室の充実	22.5%
利用案内等の広報の充実	22.4%
調査数	977

## 4. 地域のスポーツ振興に関すること

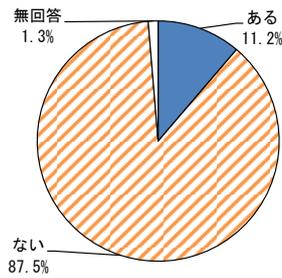
### (1)学校体育施設の利用状況

問 25 あなたは、この1年間に、長岡京市にある学校体育施設  
(小・中・高の体育館や運動場など)を利用したことがありますか。(〇は1つ)

学校体育施設の利用状況をみると、「ない」が87.5%、「ある」が11.2%となっており、利用したことがない方が8割を超えています。

図表：学校体育施設の利用状況

(N=1,070)



◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
あり	12.7%	11.2%
ない	84.5%	87.5%
無回答	2.8%	1.3%
調査数	977	1,070

(2)クラブや同好会、教室の加入状況

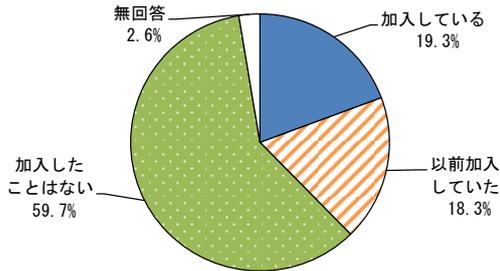
問 27 あなたは、現在、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに加入していますか。(〇は1つ)

クラブや同好会、教室の加入状況を見ると、「加入したことはない」が59.7%と最も多く、次いで「加入している」が19.3%、「以前加入していた」が18.3%となっています。

クラブや同好会、教室に加入したことがない人が6割近くいます。

図表：クラブや同好会、教室の加入状況

(N=1,070)



◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
加入している	20.6%	19.3%
以前加入していた	18.5%	18.3%
加入したことはない	55.8%	59.7%
無回答	5.1%	2.6%
調査数	977	1,070

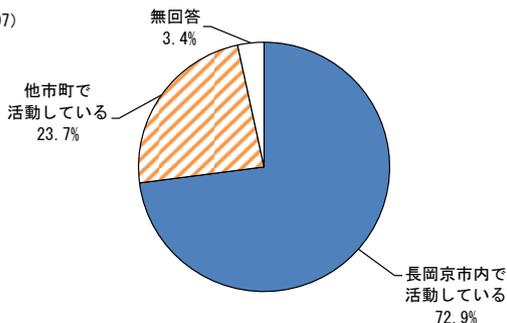
(3)クラブや同好会、教室の活動場所

問 27-1 あなたが加入しているクラブや同好会、教室は主にどこで活動していますか。(〇は1つ)  
※【問 27 で「1. 加入している」と回答した方への質問

クラブや同好会、教室などに加入している人の活動場所を見ると、「長岡京市内で活動している」が72.9%、「他市町で活動している」が23.7%となっており、クラブや同好会、教室に加入している人の7割以上が長岡京市内で活動しています。

図表：クラブや同好会、教室の活動場所

(N=207)



◆前回調査との比較

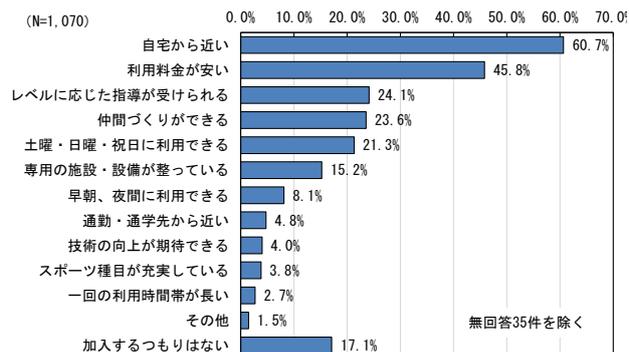
	(前回)	(今回)
長岡京市内で活動している	69.2%	72.9%
他市町で活動している	25.9%	23.7%
無回答	5.0%	3.4%
調査数	201	207

#### (4)クラブや同好会、教室への加入条件

問 28 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件は何ですか。（〇は3つまで）

クラブや同好会、教室への加入条件をみると、「自宅から近い」が 60.7%と最も多く、次いで「利用料金が安い」が 45.8%、「レベルに応じた指導が受けられる」が 24.1%となっています。

図表：クラブや同好会、教室への加入条件



◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
自宅から近い	34.4%	60.7%
利用料金が安い	26.8%	45.8%
レベルに応じた指導が受けられる	14.3%	24.1%
仲間づくりができる	13.0%	23.6%
土曜・日曜・祝日に利用できる	12.1%	21.3%
専用の施設・設備が整っている	7.7%	15.2%
早朝、夜間に利用できる	5.8%	8.1%
通勤・通学先から近い	1.7%	4.8%
技術の向上が期待できる	3.6%	4.0%
スポーツ種目が充実している	4.5%	3.8%
一回の利用時間帯が長い	2.1%	2.7%
その他	0.9%	1.5%
加入するつもりはない	10.3%	17.1%
調査数	977	1,070

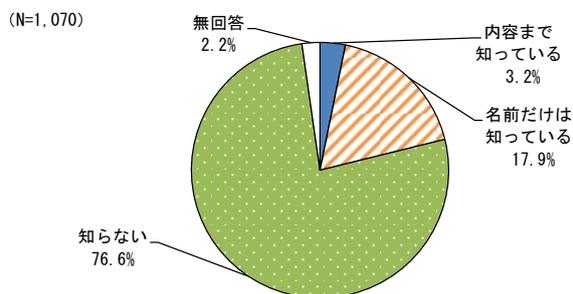
#### (5)総合型地域スポーツクラブの認知度

問 29 国では、「生涯を通じた住民のスポーツへの参画の基盤となる総合型地域スポーツクラブのさらなる育成とその活動の充実を図る」としています。あなたは、この「総合型地域スポーツクラブ」について、どの程度知っていますか。（〇は1つ）

総合型地域スポーツクラブの認知度をみると、「知らない」が 76.6%と最も多く、次いで「名前だけは知っている」が 17.9%、「内容まで知っている」が 3.2%となっています。

総合型地域スポーツクラブを「知らない」人は『知っている』人（「内容まで知っている」と「名前だけは知っている」の合計（21.1%））の約 3.6 倍となっています。

図表：総合型地域スポーツクラブの認知度



◆前回調査との比較

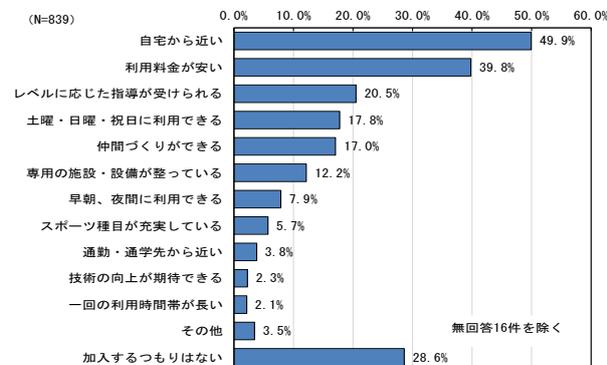
	(前回)	(今回)
内容まで知っている	5.1%	3.2%
名前だけは知っている	26.3%	17.9%
知らない	68.6%	76.6%
無回答	0.0%	2.2%
調査数	977	1,070

## (6)総合型スポーツクラブへの加入条件

問 31 あなたは、今後どのような条件があれば総合型スポーツクラブにはいりますか。  
(〇は3つまで)

総合型スポーツクラブへの加入条件をみると、「自宅から近い」が49.9%と最も多く、次いで「利用料金が安い」が39.8%、「加入するつもりはない」が28.6%となっています。

図表：総合型スポーツクラブへの加入条件



### ◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
自宅から近い	34.6%	49.9%
利用料金が安い	25.9%	39.8%
レベルに応じた指導が受けられる	13.4%	20.5%
土曜・日曜・祝日に利用できる	12.5%	17.8%
仲間づくりができる	13.0%	17.0%
専用の施設・設備が整っている	6.8%	12.2%
早朝・夜間に利用できる	5.8%	7.9%
スポーツ種目が充実している	3.6%	5.7%
通勤・通学先から近い	1.7%	3.8%
技術の向上が期待できる	2.7%	2.3%
一回の利用時間帯が長い	1.2%	2.1%
その他	0.9%	3.5%
加入するつもりはない	10.3%	28.6%
調査数	977	839

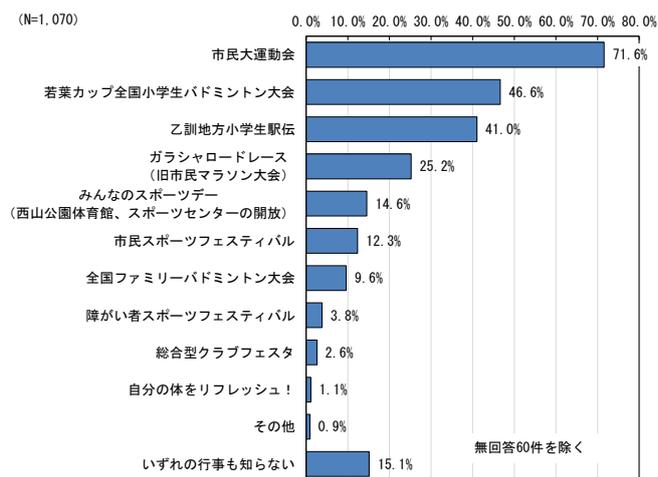
## 5. 市内のスポーツ行事及び団体に関すること

### (1)長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度

問 32 あなたは、長岡京市で行われるスポーツ行事を知っていますか。(〇はいくつでも)

長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度をみると、「市民大運動会」が71.6%と最も多く、次いで「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」が46.6%、「乙訓地方小学生駅伝」が41.0%となっています。

図表：長岡京市で行われるスポーツ行事の認知度



### ◆前回調査との比較

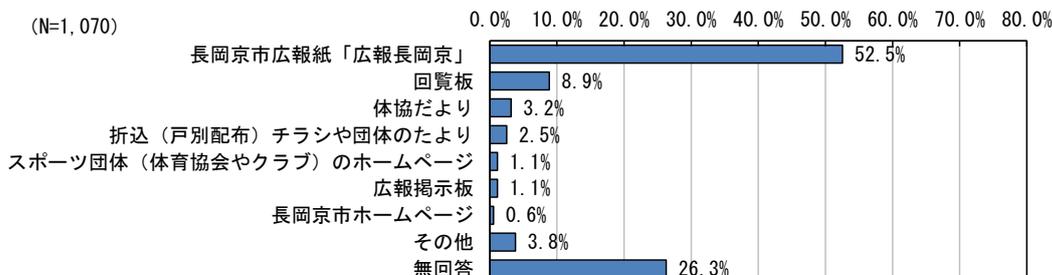
	(前回)	(今回)
市民大運動会	75.1%	71.6%
市民マラソン	45.8%	—
若葉カップ全国小学生バドミントン大会	39.8%	46.6%
乙訓地方小学生駅伝	—	41.0%
ガラシャロードレース (旧市民マラソン大会)	—	25.2%
みんなのスポーツデー (西山公園体育館、スポーツセンターの開放)	13.8%	14.6%
市民スポーツフェスティバル	12.6%	12.3%
全国ファミリーバドミントン大会	10.8%	9.6%
障がい者スポーツフェスティバル	5.0%	3.8%
総合型クラブフェスタ	—	2.6%
自分の体をリフレッシュ!	0.6%	1.1%
その他	1.0%	0.9%
いずれの行事も知らない	13.7%	15.1%
調査数	977	1,070

## (2)長岡市内のスポーツに関する行事や教室等の情報の取得方法

問 34 あなたは、長岡市内のスポーツに関する行事や教室等の情報を何でお知りになりますか。  
(〇は1つ)

長岡市内のスポーツに関する行事や教室等の情報の取得方法をみると、「長岡京市広報紙「広報長岡京」」が52.5%と最も多く、次いで「回覧板」が8.9%、「体協だより」が3.2%となっており、広報紙から情報を得ている人が5割を超えています。

図表：長岡市内のスポーツに関する行事や教室等の情報の取得方法



### ◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
長岡京市広報紙「広報長岡京」	66.3%	52.5%
回覧板	9.8%	8.9%
体協だより	—	3.2%
折込（戸別配布）チラシや団体のたより	4.0%	2.5%
スポーツ団体（体育協会やクラブ）のホームページ	—	1.1%
広報掲示板	3.1%	1.1%
長岡京市ホームページ	2.0%	0.6%
その他	3.6%	3.8%
無回答	11.2%	26.3%
調査数	977	1,070

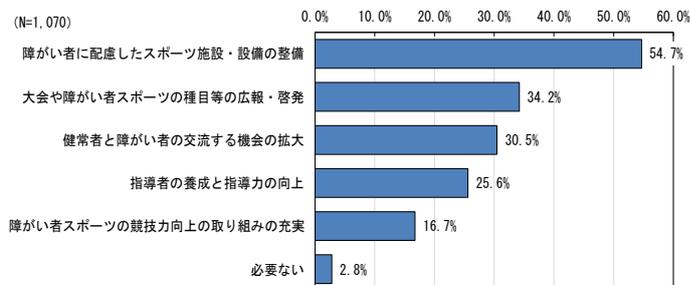
## 6. 障がい者スポーツの振興について

### (1)障がい者スポーツの振興に必要なこと

問 37 障がい者スポーツの振興のためにどのようなことが必要だと思いますか。お考えの近いものをお答えください。(〇はいくつでも)

障がい者スポーツの振興に必要なことをみると、「障がい者に配慮したスポーツ施設・設備の整備」が54.7%と最も多く、次いで「大会や障がい者スポーツの種目等の広報・啓発」が34.2%、「健全者と障がい者の交流する機会の拡大」が30.5%となっています。

図表：障がい者スポーツの振興に必要なこと



### ◆前回調査との比較

	(前回)	(今回)
障がい者に配慮したスポーツ施設・設備の整備	54.0%	54.7%
大会や障がい者スポーツの種目と広報の啓発	33.0%	34.2%
健全者と障がい者の交流する機会の拡大	31.3%	30.5%
指導者の養成と指導力の向上	23.7%	25.6%
障がい者スポーツの競技力向上の取り組みの充実	13.3%	16.7%
必要ない	—	2.8%
無回答	13.3%	—
調査数	977	1,070

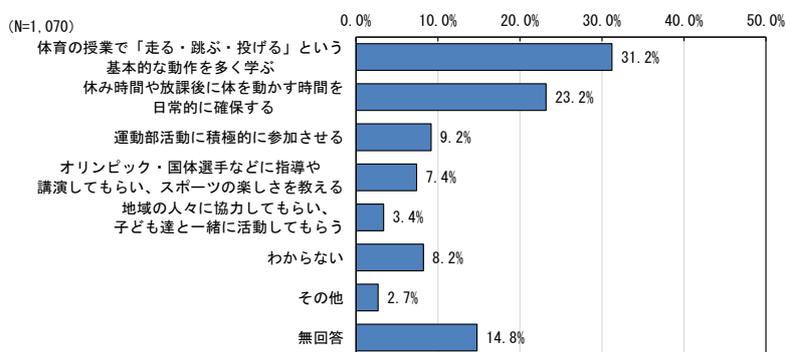
## 7. 子どもの体力向上について

### (1)子どもの体力・運動能力を向上させるために学校で取り組むべきこと

問 38 子どもにとってスポーツは、健康や体力の基礎を培い、人間形成に重要な役割を果たすとされています。子どもの基礎的運動能力は、昭和 60 年代との比較では依然として低い状況にあり、スポーツをする子とそうでない子の二極化が進んでいます。あなたは、今後、子どもの体力・運動能力を向上させるためには、学校としてどのように取り組むべきだと思いますか。(〇は1つ)

子どもの体力・運動能力を向上させるために学校で取り組むべきことをみると、「体育の授業で「走る・跳ぶ・投げる」という基本的な動作を多く学ぶ」が 31.2%と最も多く、次いで「休み時間や放課後に体を動かす時間を日常的に確保する」が 23.2%、「運動部活動に積極的に参加させる」が 9.2%となっています。

図表：子どもの体力・運動能力を向上させるために学校で取り組むべきこと

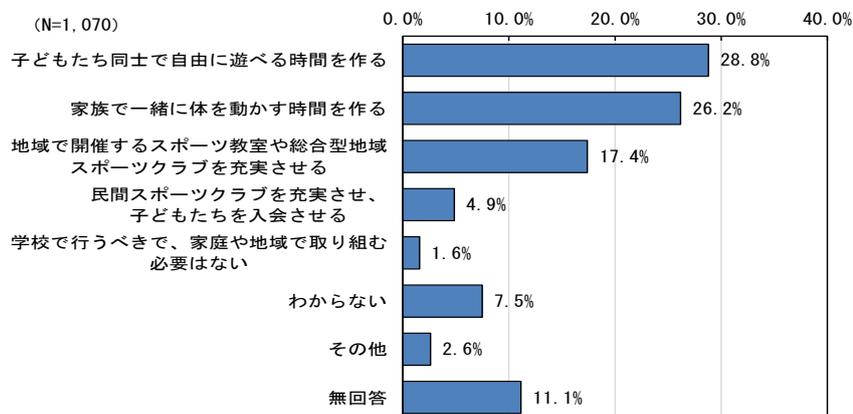


### (2)子どもの体力・運動能力を向上させるために家庭や地域で取り組むべきこと

問 39 同様に、子どもの体力を向上させるために、家庭や地域ではどのように取り組むべきだと思いますか。(〇は1つ)

子どもの体力・運動能力を向上させるために家庭や地域で取り組むべきことをみると、「子どもたち同士で自由に遊べる時間を作る」が 28.8%と最も多く、次いで「家族と一緒に体を動かす時間を作る」が 26.2%、「地域で開催するスポーツ教室や総合型地域スポーツクラブを充実させる」が 17.4%となっています。

図表：子どもの体力・運動能力を向上させるために家庭や地域で取り組むべきこと

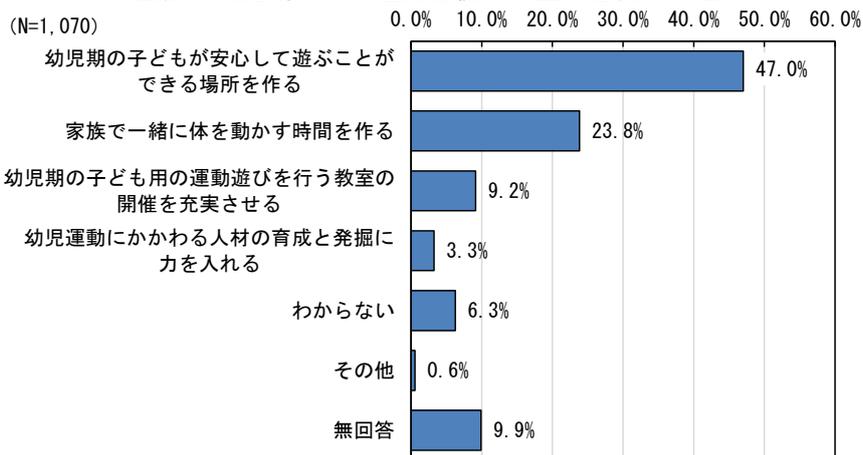


### (3) 幼児期からの運動習慣の確立に必要なこと

問 40 幼児期に遊びを中心とした身体活動を十分に行うことは、多様な動きをみにつけるだけでなく、積極的に物事に取り組む意欲を育むことにつながります。あなたは、今後、幼児期からの運動習慣の確立の為に、どのようなことに取り組むべきと思われますか。(〇は1つ)

幼児期からの運動習慣の確立に必要なことをみると、「幼児期の子どもが安心して遊ぶことができる場所を作る」が47.0%と最も多く、次いで「家族で一緒に体を動かす時間を作る」が23.8%、「幼児期の子ども用の運動遊びを行う教室の開催を充実させる」が9.2%となっています。

図表：幼児期からの運動習慣の確立に必要なこと



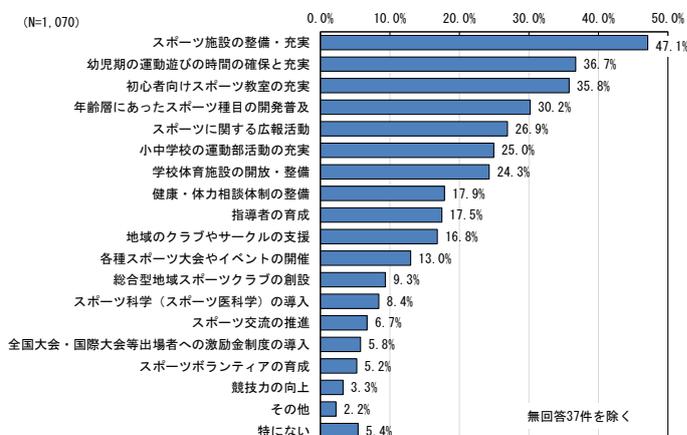
## 8. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

### (1) スポーツ振興のために長岡京市が取り組むべき施策

問 41 今後のスポーツ振興のために、長岡京市として特にどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(〇は5つまで)

スポーツ振興のために長岡京市が取り組むべき施策をみると、「スポーツ施設の整備・充実」が47.1%と最も多く、次いで「幼児期の運動遊びの時間の確保と充実」が36.7%、「初心者向けスポーツ教室の充実」が35.8%となっています。

図表：スポーツ振興のために長岡京市が取り組むべき施策



### ◆ 前回調査との比較

	(前回)	(今回)
スポーツ施設の整備・充実	42.5%	47.1%
幼児期の運動遊びの時間の確保と充実	—	36.7%
初心者向けスポーツ教室の充実	38.2%	35.8%
年齢層にあったスポーツ種目の開発普及	26.6%	30.2%
スポーツに関する広報活動	26.6%	26.9%
小中学校の運動部活動の充実	24.2%	25.0%
学校体育施設の開放・整備	24.0%	24.3%
健康・体力相談体制の整備	19.7%	17.9%
指導者の育成	18.9%	17.5%
地域のクラブやサークルの支援	17.8%	16.8%
各種スポーツ大会やイベントの開催	14.9%	13.0%
総合型地域スポーツクラブの創設	11.4%	9.3%
スポーツ科学（スポーツ医科学）の導入	7.9%	8.4%
スポーツ交流の推進	8.3%	6.7%
全国大会・国際大会等出場者への激励金制度の導入	—	5.8%
スポーツボランティアの育成	9.0%	5.2%
競技力の向上	3.4%	3.3%
その他	1.6%	2.2%
特にない	9.0%	5.4%
有効回答数	977	1,070